



仁淀病院からのお知らせ



総合診療科ってご存知ですか？ そして腹腔鏡下手術って知っちゅう？

総合診療科 池内 健二

いの町の皆さん、こんにちは。1月から仁淀病院で外科医兼副院長として働いております、池内健二です。いの町の皆さんのためにと高知県医療再生機構のお力添えで東京慈恵会医科大学から参りました。本来は外科医ですが外来では総合診療科と称して診療を行っています。もちろん外科診療も行っています。

ところで総合診療科ってご存知ですか？なじみのない方もいらっしゃると思いますので、お話しします。皆さんも何度となく経験したことがあると思いますが、病院に受診する場合にどの科に受診してよいか分らず悩んだことはありませんか？既に病名がはっきりしていて受診すべき科が分かっていたら全く問題はないのですが、自分の今の症状では、何処に、何科にかかればよいのか分からないということがあると思います。そんな時こそ、総合診療科があるのです。分らなければ、とりあえず総合診療科を受診してみようということです。

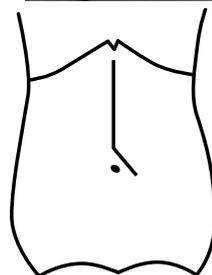
総合診療科を受診していただいたら、そこで診察、診断を行います。風邪などのような病気であればその場で薬を処方して診療が終了します。もし、もう少し厄介な病気、専門医の診察が必要と判断された場合には、総合診療科より紹介します。院内の先生、場合によってはほかの病院を紹介します。その際必要な検査があれば、あらかじめ総合診療科で検査を行ってその結果で専門の先生に診療していただくこともできます。ほかの病院へ紹介した後も自宅の近くで薬をもらいたい場合にもご相談に応じられます。専門の施設と連携して継続診療も行えるということです。

しかしながら、これでは地域の診療所や開業の先生と同じような仕事をするのかと思われるかもしれませんが、決してそうではありません。地元の先生との連携の上で診療を行うのです。普段は開業の先生に、それこそ家庭医となっていて皆さんの健康管理をしていただきます。当然のことながらそれぞれ専門をお持ちですのでその分野ではしっかりと治療をしていただき、それでもさらに検査が必要、別の専門医の意見を聞きたい、あるいは外科的処置が必要だといった場合には仁淀病院、総合診療科を受診していただき、診察させていただいた上で、その後を検討します。仁淀病院では診療や治療が困難であればさらに大きな病院へ紹介します。

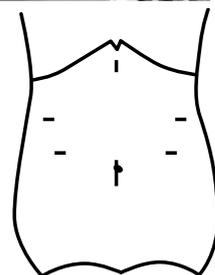
そして最終的には家庭医である地元の先生に診療を継続していただきたいのです。もちろん必要とあれば仁淀病院で継続診療も可能です。これが総合診療科の仕事です。困ったら相談できるところとっていただいてもよいと思います。もちろん既にほかの医院、病院で診療を受けている場合には、まずかかっているところに相談してください。

もちろん私の専門は外科ですので、総合診療科でそのまま診察、診断、治療、場合によっては手術まで行うことができます。最近手術もだいぶ変化してきています。腹腔鏡といって棒状のカメラをお腹の中に入れて、さらに何本か鉗子、はさみなどの器具を挿入する穴をあけて、カメラを見ながら手術をするのです。図を見ていただければ分かるように従来の開腹手術では大きくお腹を切り開いていたので手術後の痛みが相当大変でしたが、腹腔鏡下の手術では傷が小さくなるため痛みを軽減させることができます。写真は実際の胃切除術ですが、次の日から水分を取り始めることもできるようになり、術後の回復時間が短縮されました。もちろん現時点では全ての手術が腹腔鏡下手術で行えるわけではありません。悪い点もあります。よく病気を調べた後に決定します。仁淀病院では、胆嚢、胃がん、大腸がん、など腹腔鏡下での手術を行えるようになりました。これは外科の宣伝ですね！

今後仁淀病院は、地元の先生と連携した診療を行い、より良い医療体制をいの町で実現できたらと思っています。それには病院の努力はもちろん近隣の先生のご理解とご協力、そして何より患者さんやその家族の皆さんのご理解とご協力なくしてはなりません。総合診療科は月曜日から木曜日に診療を行っています。どうぞよろしくお祈りします。



従来の開腹手術(胃切除術)



腹腔鏡下手術(胃切除術)